



岐阜県感染症発生動向調査週報

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

令和 8 年 9 月 17 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

2026 年第 37 週

9/7～9/13

<情報編>

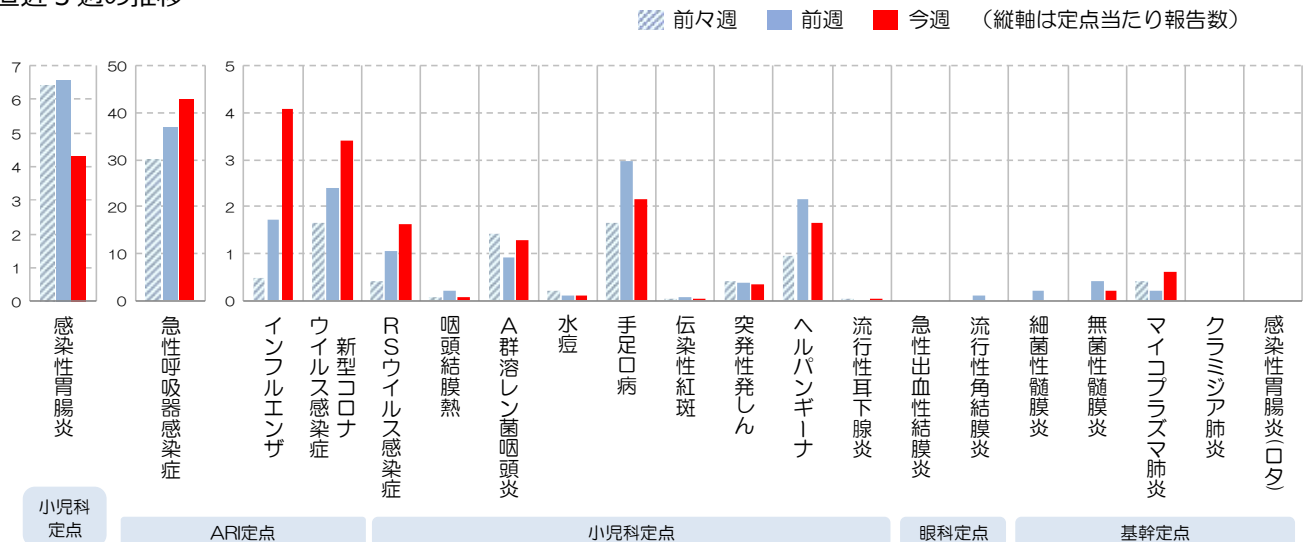
今週の主な動向

- インフルエンザの定点当たり患者報告数が前週の 2 倍以上に急増しており、特に西濃地域での報告が多くなっています。こまめな手洗いやマスクの着用など基本的な感染予防対策を徹底しましょう。
- 新型コロナウイルス感染症の患者報告数が 2 週連続で増加しており、特に可茂地域、飛騨地域での報告が多くなっており、注意が必要です。
- 手足口病とヘルパンギーナの患者報告数は県全体では減少していますが、地域により報告数の多い状況が続いていますので、引き続き注意が必要です。

定点把握対象疾患

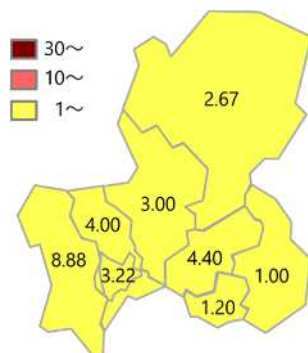
<ARI 定点：45 か所、小児科定点：27 か所眼科定点：11 か所、基幹定点：5 か所>

● 直近 3 週の推移

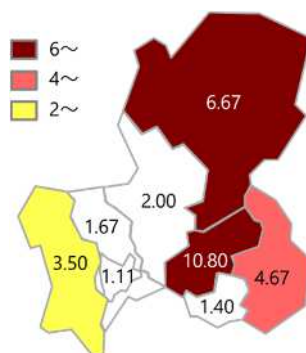


● 注意したい感染症の保健所別流行状況（地図中の数値は定点当たり報告数）

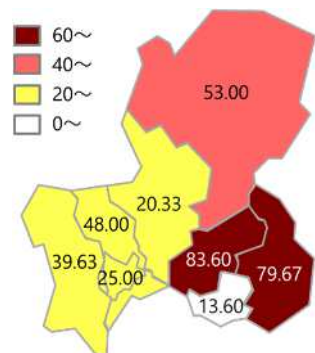
<インフルエンザ>



<新型コロナウイルス感染症>



<急性呼吸器感染症(ARI)>



全数把握対象疾患

● 新規報告分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 5 例
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 3 例
- 4 類感染症：デング熱 1 例、レジオネラ症 2 例
- 5 類感染症：後天性免疫不全症候群 (HIV 感染症を含む) 1 例、梅毒 5 例、百日咳 1 例

<情報編>